

令和7年度 倉吉商工会議所事業計画

人口減少は経済活動だけではなくすべての社会基盤を危うくする。

令和7年度においても、地域一体となり、倉吉ならではの取り組みによる「倉吉の人口を増やす」ことに全力投球する。

また、県立美術館開館を契機とする地域活性化や、新たな倉吉モデルの地方創生の取り組みを実施する。

1 企業への支援の充実

- (1) 企業に役立つ情報発信の強化
- (2) 燃油・電気代・原材料高騰等への相談対応
- (3) スタートアップ、新規創業相談対応強化
- (4) 事業承継、経営改善、新分野展開、人材確保等への相談強化
- (5) 商談会、販路開拓支援強化
- (6) 経営発達支援計画の実行による管内事業者への支援

2 移住・定住対策、若者定住対策、周知の徹底

- (1) 高校と連携した地元就職対策と周知の徹底
- (2) I、J、Uターン希望の若者への各種補助金の充実と周知の徹底
- (3) 年齢層毎の個別対策の分析、施策展開
- (4) 地元企業への各種補助金の充実と周知の徹底

3 まちの活性化に向けた組織体制確立、推進

- (1) 第3期中心市街地活性化計画推進
- (2) 空き家サポートセンター設立
- (3) 「くらしよし倉吉プロジェクト」との連携
- (4) 地方創生倉吉モデルの確立
- (5) まちづくり人材バンクの設置

4 倉吉の強みの強化(倉吉と言えば〇〇の確立、周知の徹底)

- (1) 白壁土蔵群、中心市街地、打吹山、伯耆国庁跡は日本の原風景



赤瓦・白壁土蔵群



伯耆国庁跡

- (2) 伯桜鵬関、琴櫻関、牛骨ラーメン、フィギュア、アニメ等は日本一のコンテンツ
- (3) 映画「八犬伝」を契機とする「里見関係」の積極的なプロモーション
- (4) 淀屋、倉吉緋、はこた人形等の歴史、伝統工芸
- (5) 脱炭素先行地域づくり事業の推進
- (6) 「遥かな町へ」の映画化を推進

5 観光対策の推進

- (1) 県立美術館、インバウンド対応としての「今だけ、ここだけ、あなただけ」のきめ細かな観光もてなし施策
- (2) 関金活性化（温泉、施設間連携、倉吉線廃線跡、里見八犬伝等の日本有数の観光資源の活用）
- (3) 北条湯原道路早期完成



映画「八犬伝」



倉吉線廃線跡

6 県立美術館開館を契機とする地域活性化

- (1) 市内全体で経済循環できる導線の確保（起点施設の整備、情報伝達手段、移動手段、市内複数の駐車場整備）
- (2) 倉吉市立博物館、円形劇場くらよしフィギュアミュージアム、アート格納庫M、グッドスマイルカンパニー倉吉工場との連携、特に円形劇場活性化
- (3) 歓迎フラッグ、ポスター掲示、市内経済循環スタンプラリー実施
- (4) 集いの森の活用（倉吉パークスクエア内）



鳥取県立美術館



円形劇場くらよしフィギュアミュージアム



アート格納庫M

7 部会活動の活性化

8 財源確保

- (1) ふるさと納税、企業版ふるさと納税の強化、充実、掘り起こし

■主要事業

(1) 企業への支援の充実、まちの活性化、倉吉の強み強化

[継続]【商談会出展事業】

4,000 千円

- ・都市圏等で開催される展示・商談会等への出展支援
- ・行政機関等が行う商談会等の周知



FOOD STYLE Japan2024 (10/9～10)

東京ビッグサイト 来場者：37,939 人

[継続]【商品開発・販路開拓支援事業】

1,000 千円

- ・新商品開発、既存商品改良、それに伴う展示会出展などの販路開拓支援
- ・ECサイト活用による売上拡大支援

[拡充]【スタートアップ、創業支援事業】

1,850 千円

- ・スタートアップ、創業支援相談窓口設置による支援の明確化、チャレンジショップ事業、創業スクール開催による創業者の掘り起こしと事業計画策定支援・創業後のフォローアップ

[拡充]【事業承継支援】

- ・事業承継支援相談窓口設置による支援の明確化、「鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター」、倉吉市と金融機関、各支援機関による「事業承継ネットワーク」と連携した事業承継支援、各事業所へのアンケート・聞き取り実施

[新規]【事業者への伴走支援】

- ・新分野進出、生産性向上等に向けた事業計画策定支援、各種補助金申請支援と計画のフォローアップ
- ・資金繰り、経営改善、新事業展開等の経営課題に対して、商工会議所、金融機関、信用保証協会、産業支援機関が連携して具体的な改善策を提案し、事業者の経営力向上をサポートする「とっとり企業支援ネットワーク」の活用促進

[新規]【デジタル化・DXの推進】

250 千円

- ・業務の効率化、生産性向上のためのDX推進に向けた事業者向けセミナーの開催
- ・Airビジネスツール（エアペイ、エアレジ、エアシフト、エアリザーブ等）の活用によるデジタル化の推進

〔拡充〕【個別相談会実施事業】

190 千円

- ・創業、事業承継、金融、知的財産権、確定申告・消費税申告等、経営課題に対する経営支援専門員、専門家による個別相談会の実施

〔継続〕【制度改正や事業環境変化への対応に関するセミナー開催事業】

1,000 千円

- ・税制度や労働法制等の改正、賃金引上げやデジタル化、エネルギー・物価高騰等

〔継続〕【セミナー・専門家派遣実施事業】

1,500 千円

- ・各種セミナーの開催
- ・オンデマンド（WEB）セミナーの配信
（人材育成、生産性向上、物価・エネルギー高騰対策、
税務・労務、デジタル化・DX、知的財産権等）
- ・経営課題解決に向けた専門家の派遣



〔継続〕【第10回倉吉まちゼミ開催事業】

1,000 千円

- ・地元商店買い物利用者を増やすための「まちゼミ」開催



〔拡大〕【中心市街地活性化事業】

620 千円

- ・第3期中心市街地活性化基本計画実施
鳥取県立美術館活用事業
空き家サポートセンター事業（P7 参照）
サテライトオフィス誘致事業
倉吉の歴史的資源を活用したまちなみ活性化事業
のれんの揺れるまちプロジェクト
- ・フィギュアのまち倉吉を創る会
- ・コンテンツ強化、観光強化



〔新規〕【プレミアム商品券事業への協力】

- ・倉吉市が行う「プレミアム付きデジタル商品券事業」の市内店舗への周知協力

〔新規〕【地域イベント事業協力】

2,000 千円

- ・ やきとり JAPAN フェスティバルへの協力（9 月 27 日・28 日）
- ・ 全日本瓦工業事業連盟全国大会への協力（11 月 14 日・15 日）
- ・ 鳥取県立美術館開館記念・全国代表書作家展（12 月 13 日～28 日）
- ・ その他イベント事業への協力

（2）移住・定住対策・若者定住対策、周知の徹底

〔拡充〕【県内外求人情報発信事業】

1,250 千円

- ・ 会員事業所の求人募集（8 月、12 月）
（新聞折込チラシ、ホームページへの掲載）
- ・ 高校生を対象とする企業説明会の開催



〔継続〕【外国人材活用事業】

500 千円

- ・ 企業の人材確保を支援するため外国人の技能実習、特定技能、技術・人文知識・国際業務、介護分野の各制度を活用し、商工会議所が関係機関と連携して取り組む
- ・ 外国人技能実習生への日本語学習の機会提供（当所主催及び他団体との連携開催）



〔継続〕【情報発信推進事業】

500 千円

- ・ 各種補助金、施策（国・県・市等）の情報発信強化
- ・ 各種セミナー開催情報の発信強化
- ・ 伝えたい情報が的確に伝わるホームページへのリニューアル（情報発信力の強化、入会メリット・各種支援内容等の明確化、各種申込の WEB 化）
- ・ 商工会議所だよりの内容充実
- ・ 商工会議所メール通信の内容充実と送信回数の拡充
- ・ SNS・マスコミの積極的な活用



(3) 県立美術館を契機とする地域活性化

【鳥取県立美術館盛り上げ事業】

500 千円

- ・ 倉吉春まつりと連携して美術館開館を記念するイベント開催
- ・ オープンイベント開催（歓迎ポスター、フラッグ掲揚、スタンプラリー）
- ・ アート活用・商品開発セミナー開催



(4) 部会活動の活性化

4,800 千円

【商業部会】

- ・ 倉吉まちゼミ開催、AI & ChatGPT セミナー開催

【工業部会】

- ・ 企業業見学会 & ビジネス交流会実施
- ・ 県内商工会議所工業部会正副部会長会議参加
- ・ スーパーGT決勝レース視察参加（岡山国際サーキット）

【建設業部会】

- ・ 空き家サポートセンターの活性化支援
- ・ 空き家・空き店舗活用に関する先進地視察
- ・ 家屋の耐震補強・改修の推進に関する勉強会・研修会開催

【金融業部会】

- ・ 大阪・関西万博等視察
- ・ セミナー開催（創業、若者向け、学生）

【観光交通部会】

- ・ 全国商工会議所観光振興大会参加（北海道）
- ・ その他観光振興に関する視察

【庶業部会】

- ・ インテリジェンスに関する講演会
- ・ その他講演・セミナー開催



(5) 役員・議員改選による組織体制の充実

1,600 千円

※空き家サポートセンターについて

空き家に関する相談体制整備の必要性

- ・近年、空き家・空き店舗の増加に伴い、相談内容も多岐にわたることから情報の収集と提供、除却だけでなく次に繋げる活用が求められている。
- ・空き家の実態が把握できておらず、正確な情報収集が求められる。
- ・市役所だけでは空き家に関する情報収集や提供が十分ではなく、空き家等の所有者等に情報が届かぬまま空き家として放置されている例も見受けられる。



今後は安心して誰もが相談から問題解決まで専門家による支援が受けられる体制づくりが必要。

